

令和4年度研修カリキュラム

階層研修

新任(採用～2年)

階層新 - 001 期待される公務員			
ねらい	この研修では、公務員としてスタートを切った新任職員が、地方自治体を取り巻く環境を認識し、公務員としてこれからいかに強い志と情熱をもって職務にあたらなければならないかを学びます。		
対象者	新任職員(同等職を含む)	履修期間	採用～2年
受講条件	—	予定者数	220人(各班110人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班:4月7日(木) 2班:4月8日(金)	研修時間	9:30-16:30
講師	(一社)日本経営協会 関山祐介 氏	受講後の理想の姿	<ul style="list-style-type: none"> 🔍 公務員としての理想とロマンを持って職務にあたることができる。 🔍 住民が公務員に何を期待し、望んでいるのか、アンテナを高く保ち、日々情報収集に励むことができる。 🔍 人との出会いを大切にできる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①地方自治体の今 ②公務員になったからには夢を持って ③ネットワークチェック ④自分の個性を知る、活かす ⑤人生一期一会 ⑥これからの自分の課題 		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ 公務員になったという自覚を持つことができた。 ▶▶ 公務員として働くうえで必要となるスキル・行動・心構え等これから先、大切になっていくことを学ぶことができた。 		

新任(採用～2年)

階層新 - 002 公務員の基礎知識			
ねらい	この研修では、地方自治制度、地方公務員制度及び地方税財政制度についての総論から公務員の役割・責務・仕事・使命といった各論までを学び、公務員として最低限身に付けなければならない基礎的知識の習得を図ります。		
対象者	新任職員(同等職を含む)	履修期間	採用～2年
受講条件	2日間受講できる職員	予定者数	220人(各班110人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	「地方公務員フレッシュャーズブック(第5次改訂版)」自治研修研究会((株)ぎょうせい)/税込 2,277円
研修日	1班:5月10日(火)・5月17日(火) 2班:5月12日(木)・5月19日(木)	研修時間	9:30-16:30
講師	元甲州市職員 三森齊 氏 元北杜市職員 植松忠 氏	受講後の理想の姿	<ul style="list-style-type: none"> 🔍 公務員の基礎知識となる各種制度を理解できる。 🔍 制度に対し自ら関心を持つようになる。 🔍 山梨県や自分の自治体の状況を知ろうとする意欲が湧く。
内容	(三森齊 氏) ①地方自治制度 ②地方公務員制度 (植松忠 氏) ①地方財政制度 ②地方税制度		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ 講師の方が体験談を交えながらの話だったので、状況が想像しやすくなった。 ▶▶ 様々な事例を含めた内容になっており、緊急事態が起きた際に留意すべきことを学べた。今後の参考にしたい。 ▶▶ 難しい内容だったが、今回の研修で学んだことを意識して業務にあたりたいと思った。 		

新任(採用～2年)

階層新 - 003

公務員倫理

ねらい	<p>公務員の不祥事は、マスコミにより大きく報じられます。では、なぜ公務員の不祥事がこれほどまでに注目されるのでしょうか？それは、私たち公務員は、公共の福祉のために働いているからです。 この研修では、新任職員を対象に様々な事例と演習を通じて、公務員としてふさわしい倫理観を身に付け、住民に信頼される公務員を目指します。</p>		
対象者	新任職員(同等職を含む)	履修期間	採用～2年
受講条件	-	予定者数	220名(各班55人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	-
研修日	1班:8月30日(火) 2班:8月31日(水) 3班:9月 1日(木) 4班:9月 2日(金)	研修時間	9:30-16:30
講師	市町村職員(JKET指導者)	受講後の理想の姿	<p>☑ 公務員としてのモラルを持ち職務にあたることができる。 ☑ 自分の行動の善悪について判断ができる。 ☑ 悪い事にははっきり「NO」と言える。</p>
内容	<p>①あなたはどうか行動しますか ②公務に対する批判と公務の特性 ③公務員に求められる倫理 ④実際の場面で(事例研究) ⑤望ましい職場風土の形成</p>		
研修生の声	<p>▶ 事例研究があり、具体的な事例ごとに公務員としての倫理の在り方や持ち方を学べた。 ▶ 資料や話し合いの中で、自分の市民に対する対応を見直すことができた。良く資料を確認して、正しく仕事ができるように心がけた。</p>		

新任(採用～2年)

階層新 - 005

文書の基礎

ねらい	<p>私たち公務員の仕事は、公文書により成り立っているといっても過言ではありません。そのため、新任職員には、できるだけ早く公文書に慣れ、即戦力としての活躍が求められます。 この研修では、講義と演習を通じて公文書の基礎知識を学び、文書作成能力の向上を図ります。</p>		
対象者	新任職員(同等職を含む)	履修期間	採用～2年
受講条件	-	予定者数	220人(各班70人程度)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	「地方公務員フレッシュャーズブック(第5次改訂版)」自治研修研究会((株)ぎょうせい)/税込 2,277円
研修日	1班:4月25日(月) 2班:4月26日(火) 3班:4月27日(水) 4班:4月28日(木)	研修時間	9:30-16:30
講師	市町村職員(法務マスター養成講座認定者)	受講後の理想の姿	<p>☑ 公文書の意義、重要性が理解できる。 ☑ 文書事務の流れが理解できる。 ☑ 適切な公文書が作成できる。</p>
内容	<p>①地方公共団体の文書の必要性 ②文書の種類 ③文書処理の流れ ④起案・回議・決裁・文書の施行・保管廃棄 ⑤公用文 ⑥広報 ⑦情報公開、個人情報保護 ⑧条例、規則 等</p>		
研修生の声	<p>▶ これからずっと公文書を作成していくので、過去の文書を参考にするのではなく、今回の講座で学んだことを活かしていきたい。 ▶ 自分が今までよくわかっていなかった文書の意味や言葉の使い方を具体的に学ぶことができてよかった。</p>		

新任(採用～2年)

階層新 - 006

接遇の基礎

ねらい	<p>住民サービスを行う私たち公務員は、日々の業務において住民に的確で気持ちの良いサービスを提供する義務があります。入庁間もない新任職員といえど住民の目線は他の職員と変わりません。新任職員には、いかに早く接遇能力を向上させるかが重要となります。</p> <p>この研修では、住民サービスを提供するための知識と技術を実践的に学び、接遇能力の向上を図ります。</p>		
対象者	新任職員(同等職を含む)	履修期間	採用～2年
受講条件	-	予定者数	220人(各班70人程度)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	-
研修日	1班:4月20日(水) 2班:4月21日(木) 3班:4月22日(金)	研修時間	9:30-16:30
講師	(株)パトス講師	受講後の理想の姿	<input checked="" type="checkbox"/> 住民をお客様として捉え応対することができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 住民に信頼を与える接遇ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> クレームを生まない丁寧な接客ができる。
内容	①印象形成メカニズム ②身だしなみチェック ③敬語と言葉遣い ④来客応対基礎 ⑤電話応対基礎 ⑥接遇現場実践 ⑦自己課題の達成度チェック ⑧更なる実践に向けて		
研修生の声	<p>▶ 行政サービスを提供する職員としての在り方を学ぶことができました。</p> <p>▶ なかなか聞けないことや、知っていると思っていたことをしっかり教えていただき、間違いに気が付くことが出来た。</p>		

新任(採用～2年)

階層新 - 007

社会活動

ねらい	<p>この研修では、宿泊を通じて組織における規律や協調性を理解するとともに、2日間の研修を通じてグループワークに取り組み、調査・研究からプレゼンテーションまでを行うことで、新任職員の様々な能力の開発を図ります。</p>		
対象者	新任職員(同等職を含む)	履修期間	採用～2年
受講条件	2日間受講できる職員	予定者数	240人(各班60人)
負担金	15,000円/人 ※資料代・宿泊費等を含む。	研修図書	-
研修日	1班:5月23日(月)・24日(火) 2班:5月26日(木)・27日(金) 3班:5月30日(月)・31日(火) 4班:6月 6日(月)・ 7日(火)	研修時間	初日10:00-最終日17:00(1泊2日)
講師	市町村職員(人財センター指導者) 他	受講後の理想の姿	<input checked="" type="checkbox"/> 人的ネットワークを構築できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化の知識を習得できる。
内容	①施策形成研修 ※テーマは決まり次第お知らせします。 ②プレゼンテーション		
研修生の声	<p>▶ 横とのつながりができた。講師の先生の話もわかりやすく、楽しくてやりがいのある研修でした。</p> <p>▶ 2日間の研修を通してプレゼンの基礎を学ぶことが出来、何より他市町村の方と交流が出来て良かった。</p>		

新任(採用～2年)

階層新 - 008

災害対応研修

ねらい	近年多発する大規模災害に自治体職員として行動・対応するためには、新任職員のうちから災害時の基礎知識及び対応方法を身に付ける必要があります。 この研修では、災害時の自治体職員としての心構えや、防災気象情報などの災害対応に必要な基礎知識について研修を通じて学びます。		
対象者	新任職員(同等職を含む)	履修期間	採用～2年
受講条件	—	予定者数	220名(各班110人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班:6月23日(木) 2班:6月24日(金)	研修時間	9:30-16:30
講師	元甲州市職員 三森 斉 氏 甲府地方気象台職員	受講後の理想の姿	① 災害時の基礎知識及び対応方法が身につく。 ② 防災気象情報の活用ができる。 ③ 人的ネットワークを構築できる。
内容	(三森 斉 氏) ①災害対応の基礎知識 ②災害時の自治体職員としての心構えや役割 (甲府地方気象台) ①防災気象情報等、防災に関する知識 ②クロスロードゲーム		
研修生の声	▶▶ しっかり学ぶことがなかなかない気象情報や、災害に対する対応方法を学ぶことが出来てとても良い時間だった。 ▶▶ いつ起きるか分からない災害に早めの対応ができるように意識したいと思った。		

新任(採用～2年)

階層新 - 009

メンタルヘルス—新任職員編・接遇の基本

ねらい	この研修では、メンタルヘルス及び接遇の基礎知識について学び、新任職員の心の健康の向上を図るとともに、住民サービスを提供するための接遇の基本を学びます。		
対象者	新任職員(同等職を含む)	履修期間	採用～2年
受講条件	—	予定者数	220人(各班55人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1.2班:4月13日(水) 3.4班:4月15日(金)	研修時間	1.3班: 9:30-12:30 2.4班:13:30-16:30
講師	HRDサポート 樋口しのぶ 氏	受講後の理想の姿	① メンタルヘルスの基本を理解できる。 ② ストレスの発散が上手になる。 ③ 住民に信頼を与える接遇ができる。 ④ クレームを生まない丁寧な接客ができる。
内容	メンタルヘルス—新任職員編 ①メンタルヘルス—セルフケア ②エゴグラム・ストレス耐性チェック ③アサーティブコミュニケーション 接遇の基本 ①ビジネスマナーと職場のコミュニケーション ②クレーム対応		
研修生の声	▶▶ 分かっているようでわかっていないこともあり、とても勉強になった。ワークも多く集中しやすかった。 ▶▶ メンタルケアについてあまり考える機会がないので、良い機会だった。		

現任(採用後15年)

階層現 - 004 リーダーの役割と実践			
ねらい	「できるリーダー」のいる組織とそうでない組織では、組織の生産性に大きな差が生じます。この研修では、まもなくリーダーとなる職員を対象に、リーダーに特に必要なマネジメントとコミュニケーションについて、演習を通して実践的に学び、すぐに活躍できるように身に付けなければならないスキルを学びます。		
対象者	現任職員(同等職を含む)	履修期間	採用後15年
受講条件	2日間受講できる職員	予定者数	90人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班: 7月28日(木)・8月 4日(木) 2班:10月14日(金)・10月21日(金) 3班:11月10日(木)・11月17日(木) 4班:受講状況に応じて実施	研修時間	9:30-16:30
講師	市町村職員 (JST指導者)	受講後の理想の姿	<ul style="list-style-type: none"> 🔍 組織内コミュニケーションを円滑に行うことができる。 🔍 マネジメントを理解し、経営の視点から業務を行うことができる。 🔍 積極的にリーダーシップを発揮できる。
内容	①チーム目標を達成するために必要な仕事のマネジメント ②チームを活性化するために必要なリーダーシップ ③仕事を円滑に行うために必要なコミュニケーション ④コミュニケーションの活用実践 ⑤組織の活性化及び達成目標 ⑥リーダーのあるべき姿 ⑦事例研究		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ リーダーの役割が明確になってありがたかった。 ▶▶ 現状の自分と重なる事例もあり、今後に生かせるヒントが得られてよかった。 		

現任(採用後15年)

階層現 - 005 行政経営と効率化-応用コース			
ねらい	地域社会の変容や経済のグローバル化が急速に進展する中、基礎自治体は時代の変化に適応し、効率的かつ持続可能な行政経営を実現しなければなりません。この研修では、基礎自治体が効率的・効果的な行政経営を実現するために必要な職員を育成するため、「公共MBA(Manager of Business Administration)中級」の考え方を取り入れ、将来を担う自治体職員のスキルアップを目指します。		
対象者	現任職員(同等職を含む)	履修期間	採用後15年
受講条件	2日間受講できる職員	予定者数	60人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班: 7月 6日(水)・7月 7日(木) 2班:11月 8日(火)・11月 9日(水)	研修時間	9:30-16:30
講師	(一財)公共経営研究機構 白州二郎 氏	受講後の理想の姿	<ul style="list-style-type: none"> 🔍 行政を経営的な視点で見ることができる。 🔍 組織改革の必要性を理解し、そのための手法を身に付けている。 🔍 マーケティングとファイナンスの基本を理解できる。
内容	①地方行政の姿と経営理念 ②組織マネジメント ③マーケティング戦略 ④人事制度、人材育成 ⑤ファイナンスの基本		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ グループワークが意義深いものでしたが、先生の話がとても面白いので、もっと聞きたかった。 ▶▶ 講義をただ聞くだけでなく実際にみんなで話をすることで理解することができた。 		

現任(採用後5年)

階層現 - 006 行政経営と効率化-基礎コース			
ねらい	<p>地域社会の変容や経済のグローバル化が急速に進展する中、基礎自治体は時代の変化に適応し、効率的かつ持続可能な行政経営を実現しなければなりません。</p> <p>この研修では、基礎自治体が効率的・効果的な行政経営を実現するために必要な職員を育成するため、「公共MBA(Manager of Business Administration)初級」の考え方を取り入れ、将来を担う自治体職員のスキルアップを目指します。</p>		
対象者	現任職員(同等職を含む)	履修期間	採用後5年
受講条件	—	予定者数	90人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班: 6月17日(金) 2班:10月5日(水) 3班: 1月12日(木)	研修時間	9:30-16:30
講師	(一財)公共経営研究機構 白州二郎 氏	受講後の理想の姿	<p>📌 時代の変化を認識し、広い視野を持つことができる。</p> <p>📌 行政を経営的な視点で見ることができる。</p>
内容	<p>①地方行政の現場から</p> <p>②組織論</p> <p>③マーケティングの基本</p> <p>④組織改革論</p> <p>⑤人事制度概要</p> <p>⑥公会計制度の基本</p> <p>⑦情報通信技術(ICT)の基本</p>		備考
研修生の声	<p>▶ 日常的に深く意識をして来なかったが、非常に大切なことを改めて気づかされた。</p> <p>▶ ディスカッション方式で他人の意見を聞きながら作業できてよかった。</p> <p>▶ 話し合うことで自分にはない視点や考えを知ることが出来た。</p>		

現任(採用後5年～10年)

階層現 - 007 メンタルヘルスとコミュニケーション			
ねらい	<p>日頃仕事をしていて、言いたいことを我慢したり、言っただけで相手を怒らせてしまったという経験はないですか? 伝えたいことがうまく伝えられずに、仕事を抱えて悩んでいませんか? こうした職場での日頃のコミュニケーションがメンタルヘルスの不調の原因になる場合が多いと言われていて、</p> <p>この研修では、ストレスを考えながらメンタルヘルスの基本を学ぶとともに、メンタルヘルス不調とならないための良好な人間関係を構築できる職場でのコミュニケーションの方法を学びます。</p>		
対象者	現任職員(同等職を含む)	履修期間	採用後5年～10年
受講条件	—	予定者数	48人(各班24人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班:8月3日(水) 2班:11月25日(金)	研修時間	9:30-16:30
講師	オフィス ルシード・グレイス 岡田賀代子 氏	受講後の理想の姿	<p>📌 メンタルヘルスの基本が理解できる。</p> <p>📌 職場でのコミュニケーションの基本を把握している。</p> <p>📌 コミュニケーションを通じて良好な職場環境を作ることができる。</p>
内容	<p>①ストレスについて</p> <p>②ストレスレベルを知る</p> <p>③コミュニケーションパターンを知る</p> <p>④ストレスに対処する</p> <p>⑤職場でのコミュニケーションの基本(傾聴、アサーティブコミュニケーション等)</p> <p>⑥セルフトーク・演習</p>		備考
研修生の声	<p>▶ 大変分かりやすい講義だった。自分を変えるヒントを得られた。</p> <p>▶ とても良かった。今後の日常生活に生かしていきたい。</p> <p>▶ コミュニケーションにおいて、日頃から自分が気を付けてることを再確認できた。相手も自分も気持ちよく過ごせるように、今後も心がけていきたいと思う。</p>		

現任(採用後5年～10年)

階層現 - 008 やる気を引き出すモチベーションアップ研修

ねらい	<p>私たち公務員は、行政のプロとして住民からの期待に応えるため、職務に対し高いモチベーションを持ち、進んで行動する姿勢が求められます。</p> <p>この研修では、自身のこれまでの行動を振り返りつつ、仕事におけるモチベーションの源泉を見出し、主体的に行動し成長する意識の向上につなげます。</p>		
対象者	現任職員(同等職を含む)	履修期間	採用後5年～10年
受講条件	—	予定者数	50人
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	6月29日(水)	研修時間	9:30-16:30
講師	(株)話し方教育センター 山川亮子 氏	受講後の理想の姿	<ul style="list-style-type: none"> 🔍 職務に対するモチベーションが高まる。 🔍 自分自身のモチベーションを効果的にマネジメントすることができる。 🔍 仕事に対して前向きで主体的に取り組むことができる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①モチベーションアップへの基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ・モチベーションとは ②モチベーション自発への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・就業、業務への認識から生まれる自発 ・自身の貢献をつかむ ③モチベーションを高めるために <ul style="list-style-type: none"> ・職業人としての誇り 		
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ 自分が気付かなかったことや、忘れてしまった意識を取り戻すことが出来た。 ▶▶ 業務や自分自身について、なかなか考えられる時間はないので、とても良い機会だった。 ▶▶ 業務に関することだけでなく、違う視点からの話を聞くことが出来て楽しかった。 		

監督者(昇任～2年)




階層監 - 004 OJTの基礎知識

ねらい	<p>人材育成の基本は、日常恒常的に行われる職場内研修(OJT)であり、その手法は職員個々の経験や感覚に委ねられています。</p> <p>この研修では、OJTの基礎のほか、コーチング技術の取得について事例研究を通して学びます。</p>		
対象者	監督者(同等職を含む)	履修期間	昇任～2年
受講条件	2日間受講できる職員	予定者数	60人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班: 7月29日(金)・8月5日(金) 2班: 11月11日(金)・11月18日(金) 3班: 受講状況に応じて追加	研修時間	9:30-16:30
講師	市町村職員(OJT指導者)	受講後の理想の姿	<ul style="list-style-type: none"> 🔍 OJTを理解し、日頃の仕事を通じ、部下の育成を意識できる。 🔍 コーチングを理解し、部下とのコミュニケーションに活用できる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①今なぜOJTなのか ②OJT機能不全の実態 ③実践的OJT ④チームで働く意義・教えあう(新上司の役割) ⑤対応に困ったケース ⑥総括・まとめ 		
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ 人材育成のために今回の研修内容を参考にしたい。 ▶▶ リーダーになり、部下の育成、指導の方法がわかった。今までしてきたことを意識して行うことで良いと分かり安心した。その他多くの気づきがあった。 		

監督者(昇任後5年)

階層監 - 005




マネジメント

ねらい	<p>自治体経営の最前線にいる監督者は、自治体経営における政策形成や行財政改革を常に視野に入れて業務を進めていかなければなりません。 この研修では、本来管理職が身に付けなければならないマネジメントについて前倒して学び、監督者がいち早く行政経営の中核になることを目指します。</p>		
対象者	監督者(同等職を含む)	履修期間	昇任後5年
受講条件	—	予定者数	90人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班:7月 8日(金) 2班:10月 6日(木) 3班:1月13日(金)	研修時間	9:30-16:30
講師	(一社)日本経営協会 関山祐介 氏	受講後の理想の姿	<ul style="list-style-type: none">  地方を取り巻く環境が把握できる。  総合的経営戦略を持つことができる。  組織における監督者の役割を理解し行動できる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①社会と自治体の現状 ②近い将来の社会と自治体の姿 ③本来の自治体経営と求められるもの ④職員の姿と将来の意識 ⑤監督者としての意識と組織 		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ とてもわかりやすく、参考事例がありよかった。 ▶▶ 今後のためになった。方向性が見えた。 ▶▶ 自治体職員として、持つべき視点を改めて認識できた。 		

監督者(昇任後5年)

階層監 - 006

住民との協働によるまちづくり

ねらい	<p>発展的な行政経営のキーマンは住民であり、住民自治を確立・促進することこそが独自性と創造性を持った基礎自治体の本来のあり方であると考えます。 この研修では、住民自治の足がかりとなる「住民協働」を現場で実践してきた自治体職員を講師に迎え、成功例・失敗例を学び、自分の地域での「住民自治に向けた住民協働」を考えます。</p>		
対象者	監督者(同等職を含む)	履修期間	昇任後5年
受講条件	—	予定者数	60人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班:7月1日(金) 2班:10月4日(火)	研修時間	9:30-16:30
講師	(一財)公共経営研究機構 1班:神山伸一 氏 2班:野崎孝志 氏	受講後の理想の姿	<ul style="list-style-type: none">  住民自治が理解できる。  住民と協働することの大切さが理解できる。  新たな住民との協働へのきっかけをつかめる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①住民自治とは ②なぜ住民協働なのか ③職員からみた住民協働 ④住民が求めるものと協働 		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ 実際の経験を通しての話が多く取り入れられていて、とても分かりやすかった。 ▶▶ 普段の業務の中で忙殺され熟考できない「協働」というワードだが、発想の転換と協働できる住民づくりが必要ということを改めて思った。 		

監督者(昇任～2年)

階層監 - 007

政策財務研修

ねらい

自治体はより良いサービスを住民に提供していく義務を負っています。一方、自治体の財政を取り巻く環境は今後も厳しい状況が続くと予測されます。そのような中で、監督者は、限られた資源(職員、予算、その他)を前提にしながら政策課題に向き合う必要があります。
この研修では、監督者としてこれらの業務を遂行するに当たり必要なマネジメントの手法と考え方を学びます。

対象者	監督者(同等職を含む)	履修期間	昇任～2年
受講条件	—	予定者数	60人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班:7月12日(火) 2班:10月18日(火)	研修時間	9:30-16:30
講師	行政アドバイザー 大崎映二 氏	受講後の理想の姿	<input checked="" type="checkbox"/> 行革の本質を理解している。 <input checked="" type="checkbox"/> 政策評価の意義を理解している。 <input checked="" type="checkbox"/> 行革と政策評価を連動して考える事ができる。
内容	①行政を取り巻く環境と行財政改革の本質 ②企業経営の改善手法と行政経営 ③行政経営における全体最適と部分最適 ④行革に結び付く実践的な評価手法 ⑤マネジメントに不可欠な優先順位の考え方 ⑥演習		備考
研修生の声	<p>▶▶ 非常に解りやすく、今後の業務に対する考え方を深めることが出来た。 ▶▶ 財務について意外と理解できていないことが多かったので、とても実のある研修になった。</p>		

管理職(昇任～2年)

階層管 - 002

管理者の役割

ねらい

行政を取り巻く環境の変化に伴い、管理職の役割、重要性、求められる能力は格段に増えています。
この研修では、管理者に求められる9つのピースを演習により実践的に学び、管理者に必要な能力の向上を図ります。

対象者	管理職(同等職を含む)	履修期間	昇任～2年
受講条件	—	予定者数	90人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班:5月13日(金) 2班:8月23日(火) 3班:10月7日(金)	研修時間	9:30-16:30
講師	(株)ビーコンラーニングサービス 森口敬司 氏	受講後の理想の姿	<input checked="" type="checkbox"/> 管理者に必要な能力が身に付いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 危機管理を常に意識できる。
内容	①オリエンテーション ・環境変化と職場環境の変化 ・職場活性化に求められる9つのピース ②マネジメント診断 ③公務員倫理 ④管理職に求められる9つのピース ⑤職場活用方法の検討		備考
研修生の声	<p>▶▶ 新任管理職にとって良い研修だった。 ▶▶ 管理職としての留意点を聴くことができた。 ▶▶ 管理職研修であり、堅いイメージだったが、楽しみながら聴くことができた。</p>		

管理職 (昇任～2年)

階層管 - 003

人事評価を活かした人材育成

ねらい	人事評価の最終目的は、評価することではなく人材育成や組織マネジメントの向上に繋げることにあります。この研修では、人事評価の本質を理解するとともに、事例を通じて活用方法を学び、制度の最大限の活用を目指します。		
対象者	管理職(同等職を含む)	履修期間	昇任～2年
受講条件	—	予定者数	60人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班:8月18日(木) 2班:10月21日(金)	研修時間	9:30-16:30
講師	(一財)公共経営研究機構 小川真澄 氏	受講後の理想の姿	<input checked="" type="checkbox"/> 人事評価の本質が理解できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成の重要性を理解できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 人事評価の結果を人材育成に活用できる。
内容	①人事評価と人材育成の密接な関係 ②人事評価の考え方と進め方 ③目標による管理と業績評価 ④部下との面談の進め方 ⑤具体的事例の紹介		備考
研修生の声	▶▶ 講師が、以前同じ立場だったこともあり、実体験も含めてとても理解しやすかった。 ▶▶ ロールプレイにより他の方々の姿を拝見でき、とても参考になった。人事評価における面談の基本が学べた。		

管理職 (昇任～2年)

階層管 - 004

トップマネジメント

ねらい	自治体行政を取り巻く環境は大きく変化・流動化しており、自治体にとって管理職のマネジメントスキルの向上は必須科目といえます。この研修では、自治体経営で手腕を発揮した元自治体職員の方から実際の事例や考え方などを聞き、自治体をマネジメントするためのヒントを学びます。		
対象者	管理職	履修期間	昇任～2年
受講条件	—	予定者数	24人
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	10月25日(火)	研修時間	9:30-16:30
講師	元甲府市総務部長 長田敦彦 氏	受講後の理想の姿	<input checked="" type="checkbox"/> 自治体のマネジメントを理解できる。 <input checked="" type="checkbox"/> あるべき姿と自分の「今」を客観視できる。
内容	①時の流れ、「今」を知る ②ビジョンの大切さ ③自分を見つめ、「己」を知ること ④管理職に必要なスキル ⑤人を動かし、組織を動かすということ ⑥人間力を磨く・アトランダム ⑦提案		備考
研修生の声	▶▶ 講師の方の体験を交えた話もあり、分かりやすい研修だった。 ▶▶ 問題解決に向けた実務的な話でとても良かった。		

階層共通 (全階層)

階層共 - 001

メンタルヘルス－職員編

ねらい	<p>「私は、精神的に強いからメンタルヘルス不調にならない。」と思っている方、それは間違いです。メンタルヘルスの不調は誰もがなる可能性があります。しかし、組織においては自分の思いどおりにならないことが多く存在します。そこで、重要なのがストレスのセルフコントロールです。 この研修では、「心の体操」を通じてメンタルヘルス不調に対する自己予防の方法を探ります。</p>		
対象者	全階層	履修期間	—
受講条件	—	予定者数	100人
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	図解「心の体操」教本/税込 550円
研修日	7月14日(木)	研修時間	9:30-16:30
講師	メンタルヘルス総合研究所 久保田浩也 氏	受講後の理想の姿	<ul style="list-style-type: none"> ストレスの発散が上手になる。 メンタルヘルスの基本を理解できる。 組織の精神的健康管理に配慮できる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①メンタルヘルスの基本理解 ②メンタルヘルス関連の治療の現状 ③うつ状態について ④心の病発見と対処法 ⑤職場復帰の現状 ⑥「心の体操」実習 	備考	<ul style="list-style-type: none"> 上記の研修図書を必ず持参してください（購入を希望する場合は、申込みをしてください。）。 心の体操を実施しますので軽装で参加してください。 山梨県市町村職員共済組合との共催で実施します。
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ 心の変化をキャッチし、自分自身のことにも見逃さず、自分をもっと大切にしたいと思う。休み方の訓練をしていきたい。 ▶▶ 以前からメンタルヘルスに興味があり参加したが、実際に心の体操を行うことができて良かった。リラックスするという感覚を知ることができた。 		

階層共通 (管理職・監督者)

階層共 - 006

メンタルヘルス－管理監督者編

ねらい	<p>メンタルヘルス不調は、今や社会問題と言っても過言ではありません。私たちは、その原因を個人による内的要因と考えがちですが、その多くは職場環境などの外的要因にあると考えられます。そこで、良好な職場環境作りにおいて重要な役割を担っているのが管理監督者です。 この研修では、管理監督者を対象に、メンタルヘルスの基本の理解と、職場でメンタルヘルス不調者を出さない良好な職場づくりの方法について事例を交えて学びます。</p>		
対象者	管理職・監督者(同等職を含む)	履修期間	—
受講条件	—	予定者数	60人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班:7月15日(金) 2班:11月15日(火)	研修時間	9:30-16:30
講師	東京メンタルヘルス(株) 武藤清栄 氏	受講後の理想の姿	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルスの基本を理解できる。 良好な職場環境を作ることができる。 不調者が発生した場合、的確な対応を取ることができる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①メンタルヘルスの現状 ②ストレスチェックについて ③公務員におけるメンタルヘルス ④メンタルヘルス不調のサインと対処法 ⑤職場復帰の方法 ⑥メンタルヘルス不調者を出さない職場づくり ⑦グループワーク 	備考	2班編成で実施しますので、希望する班を選択してください。
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ メンタルヘルスを考慮したコミュニケーションが大切だと分かった。 ▶▶ 実践的なケーススタディもあり、参考になった。 ▶▶ 職場内の会話しやすい環境づくりや人の話を聴く姿勢が大切だと思った。 		

階層共通 (全階層)

階層共 - 003

公務員の基本—法令遵守

ねらい	<p>公務の遂行には高い職業倫理が求められており、コンプライアンス意識を常に持つことが必要です。 この研修では、公務員に求められるコンプライアンス意識、不祥事及びハラスメントの防止に向けた取り組み方を学び、併せて不当要求行為への対応や説明責任(アカウンタビリティ)を果たすための危機管理広報(クライシスコミュニケーション)スキルの習得を目指します。</p>		
対象者	全階層	履修期間	—
受講条件	—	予定者数	60人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班:6月10日(金) 2班:11月29日(火)	研修時間	9:30-16:30
講師	(一社)日本経営協会 手島伸夫 氏	受講後の理想の姿	<p>法令遵守の重要性が理解できる。 業務と法令との関連を意識できる。 法令を遵守していることをはっきりと住民に公言できる。</p>
内容	<p>①自治体におけるリスク ②自治体のコンプライアンス ③地方公務員のサービスとコンプライアンス ④職員の不祥事防止と組織体質 ⑤不祥事を防ぐ風通しが良く働きやすく職場 ⑥自部署のコンプライアンスを考察</p>		<p>2班編成で実施しますので、希望する班を選択してください。</p>
研修生の声	<p>▶ 法令遵守という堅い研修をイメージするが、他の人とのコミュニケーションが大切であると分かった。グループで意見交換ができ、有意義な時間だった。 ▶ コンプライアンスは難しいイメージがあったが、事例を踏まえた分かりやすい講義とグループ討議で楽しく理解できた。</p>		

階層共通 (全階層)




階層共 - 009

公務員の基本—法制執務

ねらい	<p>地方分権の進展により、自らの地域に合った政策を推進するためには、所管課職員が政策を具現化できる法務能力が必要となります。 この研修では、自治体職員が最低限身に付けなければならない法務法制の基本を学びます。</p>		
対象者	全階層	履修期間	—
受講条件	2日間受講できる職員	予定者数	60人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	「全訂図説法制執務入門」(株)ぎょうせい /税込 2,970円
研修日	1班: 7月20日(水)・ 7月21日(木) 2班: 9月29日(木)・ 9月30日(金)	研修時間	9:30-16:30
講師	元東京都法務部長 中村次良 氏	受講後の理想の姿	<p>法制執務能力が向上する。 政策を条例として具現化する能力が身に付く。 法制執務のプロとして自らのスキルアップにつながる。(修了後は、法制執務 一部改正編、新規制定編、審査編の受講をお勧めします。)</p>
内容	<p>①基礎講義 ②法令の形式、構成、法令文の表現等 ③法令等の制定改廃の形式 ④一部改正の手順 ⑤演習</p>		<p>2班編成で実施しますので、希望する班を選択してください。 上記の研修図書を必ず持参してください(購入を希望する場合は申込みをしてください。)</p>
研修生の声	<p>▶ 先生の説明がとても丁寧で、分かりやすかった。 ▶ 法制執務は、とてもとっつきにくく、難しいイメージがあったため、先生の説明がとても分かりやすかったこと、演習で実際に取り組んだことで、条例等がより身近になった。</p>		




階層共通 (監督者・現任)

階層共 - 004 **ファシリテーションを活用したチームカアアップ**

ねらい	行政課題が複雑化、高度化する中で、迅速かつ適切に仕事を行うためには、チーム一丸となって取り組むことが必要です。 この研修では、チームで仕事をする手法を学び、その効果と喜びを体験し、自らの職場の活性化に繋げることを目指します。		
対象者	監督者・現任職員	履修期間	—
受講条件	—	予定者数	60人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班: 7月26日(火) 2班: 11月 2日(水)	研修時間	9:30-16:30
講師	(株)ピーコンラーニングサービス 西済誠一郎 氏	受講後の理想の姿	 チームリーダーの役割を認識できる。  ファシリテーションを理解し、活用できる。  職場の活性化を図る意識が持てる。
内容	①ファシリテーションとは ②ファシリテーターに求められる能力 ③演習「会議の実施と観察」 ④演習「ファシリテーションの実施と振り返り」 ⑤活性化された職場の要件		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ 分かりやすい内容で、自分がかかわることでさらに理解し、学ぶことが出来た。 ▶▶ 講師の方の話が聞きやすく、分かりやすく、実践も含めて面白かった。 ▶▶ 普段、会議の進行をする機会がなかったが、ファシリテーターの役割の重要性と難しさを実感した。 		

階層共通 (全階層)

階層共 - 008 **ワークライフバランス**

ねらい	私たち自治体職員は、公務員として、地域住民として、そして家族を支える一員として、仕事・家庭・社会との調和(ワークライフバランス)を図りながら生きていかなければなりません。 この研修では、ワークライフバランスを実現するための正しい知識とその中で自らがどのように生き、人材力を上げたらよいか、その意識と考え方を学びます。		
対象者	全階層	履修期間	—
受講条件	—	予定者数	70人
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	11月4日(金)	研修時間	9:30-16:30
講師	(株)マネジメントサポート 小西ひろみ 氏	受講後の理想の姿	 ワークライフバランスについて理解できる。  自らの人材力向上を図ることができる。  職場環境の改善ができる。
内容	①組織におけるワークライフバランスとは ②自分の強みと弱みを知る ③自分の内面を知る ④自分の人材力向上の方向を考える ⑤人材力向上計画の策定 ⑥私たちが越えなければならない壁 ⑦まとめ		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ 自分自身を見つめ直す良い機会になった。 ▶▶ 講師の方の進め方が良く、集中することができた。 ▶▶ 内面的性格等を数値化することにより、自己の問題点に気づきやすくなった。 		

階層共通 (管理職・監督者)

階層共 - 010

女性リーダーシップ

ねらい	女性活躍の流れが加速していく中、自治体においても、管理監督職に就く女性の割合の増加が見込まれます。この研修では、リーダーとして必要とされるリーダーシップ・マネジメント能力や部下と接する際のコミュニケーション能力などを養い、優れた女性リーダーとしての考え方や行動を学びます。		
対象者	管理職・監督者	履修期間	—
受講条件	女性限定	予定者数	30人
負担金	500円／人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	10月28日(金)	研修時間	9:30-16:30
講師	(株)話し方教育センター 内田由美 氏	受講後の理想の姿	<input checked="" type="checkbox"/> 女性リーダーとしての立場と役割が認識でき、心構えが身に付く。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場メンバーに対する日常の関わり方を考え、具体的な手法を習得できる。
内容	①女性リーダーに求められる認識 ②部下・後輩との良好な関係を作る表現法 ③行動を促す説明・説得のポイント ④聞き方のスキル ⑤さらにすぐれた女性リーダーを目指して		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ 現在の仕事にとっても役に立つ内容でした。 ▶▶ グループワークで色々な角度から話を聞くことができてよかった。 ▶▶ リーダーとしてだけでなく、対市民でもコミュニケーションの取り方について応用できる点が多く、活かしていきたいと思う。 		

階層共通 (管理職・監督者)

階層共 - 011

人事評価 評価者研修

ねらい	人事評価制度の目的は、能力、実績に基づいた公平かつ客観的な評価によって職員の意識を高め、組織全体の士気高揚を促すことにあります。そこで、評価者と被評価者の双方が納得する人事評価を行うためには、評価者自身の資質の向上が必須となります。この研修では、評価者側の立場から、評価に対する考え方や評価のポイントを演習を通じて学びます。		
対象者	管理職・監督者	履修期間	—
受講条件	評価者	予定者数	80人
負担金	500円／人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	5月20日(金)	研修時間	9:30-16:30
講師	(一社)日本経営協会 鈴木由朗 氏	受講後の理想の姿	<input checked="" type="checkbox"/> 人事評価制度の正しい知識が身に付く。 <input checked="" type="checkbox"/> 実際の評価の仕方や面談の仕方など、留意点を含めて習得できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 演習を通じて公平かつ公正な評価ができる。
内容	①マネジメントと人事評価 ②人事評価に関する基礎知識 ③目標の設定の仕方 ④業績評価の仕方と留意点 ⑤能力評価の仕方と留意点 ⑥効果的な面談の仕方		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ 初めてづくしでしたが、業務に戻ってから非常に役に立つことばかりで良かった。 ▶▶ 評価する立場になったことがなく不安であったが、基本的に考えるべきことが分かった。 ▶▶ 部下に対する接し方や言い方が参考になった。客観的な評価の基礎が学べた。 		

階層共通 (全階層)

階層共 - 012 **地域デザイン力創造**

ねらい	地域活性化のツールやアイテムは、各々の地域で多岐にわたることから、画一的な手法はありません。この研修では、全国各地域で行われている地域活性化事例「ローカルデザイン」を紹介し、地域活性化のヒントとポイントを学びます。また、ローカルデザインがもたらす自治体経営への影響も併せて考えます。		
対象者	全階層	履修期間	—
受講条件	—	予定者数	80人
負担金	500円／人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	9月27日(火)	研修時間	9:30-16:30
講師	立正大学研究推進・地域連携センター 地域連携チーフプロデューサー 総務省・地域創造アドバイザー ローカルデザイン研究所 BEENS 代表 鈴木輝隆 氏	受講後の理想の姿	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村の課題と最新の状況が把握できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 地方の活性化のためにどのようなことが必要なのか理解できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 何事にもチャレンジする意欲が湧く。
内容	①情報共有と自治体改革 ②市町村合併後の住民自治による地域づくり ③ネットワークと地域づくり ④ローカルデザイン力から地域の経営を考える ⑤市町村職員に求められる資質や能力		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ 実際の写真や動画を用いた研修だったのでわかりやすかった。 ▶▶ まちの魅力について考え直す機会になった。地域の活性化に向けてもっと考えていきたいと思った。 ▶▶ 庁内の職員だけでなく、いろいろなネットワークを活用することにより、その地域の新しい面や再発見ができる。そのことにより地域づくりがよりよくなるのが学べた。 		

階層共通 (管理職・監督者)

階層共 - 013 **知ろう！防ごう！ハラスメント防止研修**

ねらい	組織のマネジメントにおいて、ハラスメントの発生防止やハラスメントを過剰に意識せず適切に部下を指導できる環境を作ることは、職員の能力を十分に発揮させるうえで近年特に注目されています。この研修では、ハラスメント全般について自らの行動や職場の現状を改めて考え、ハラスメント防止に対する意識を高め、誰もが働きやすい職場づくりに繋がります。		
対象者	管理職・監督者	履修期間	—
受講条件	—	予定者数	30人
負担金	500円／人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	8月25日(木)	研修時間	9:30-16:30
講師	(株)話し方教育センター 佐藤敬子 氏	受講後の理想の姿	<input checked="" type="checkbox"/> ハラスメント防止に対する意識が高まる。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理職・監督職としてのリーダーシップスタイルを見直すことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが働きやすい職場づくりに繋がる。
内容	①職場における“セクハラ”問題 ②管理・監督者として考えるべき、セクハラをなくすための対策 ③パワハラとは何か ④パワハラをなくすために ⑤ハラスメントのない未来を目指して		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ コミュニケーションの大切さを改めて感じた。 ▶▶ 管理職として知っておくべきことを知ることができた。 ▶▶ ハラスメントについて再認識、再確認ができた。今後の業務に活用していきたい。 		

階層共通 (全階層)

階層共 - 014

タイムマネジメント研修

ねらい

働き方改革のもと、官民を問わず多くの組織で、長時間労働の削減やワークライフバランスの推進等に向けた取り組みが行われています。

この研修では、タイムマネジメントの原則を学び、その活用により時間を有効的に使い、仕事の生産性の向上及び時間外労働や長時間勤務の削減・防止を図り、仕事とプライベートの両立など、ワークライフバランスの実現につなげます。

対象者	全階層	履修期間	—
受講条件	—	予定者数	60人(各班30人)
負担金	500円/人 ※資料代を含む	研修図書	—
研修日	1班:7月25日(月) 2班:11月1日(火)	研修時間	9:30-16:30
講師	(株)ビーコンラーニングサービス 西済誠一郎 氏	受講後の理想の姿	<ul style="list-style-type: none"> 🕒 タイムマネジメントの重要性・必要性を認識し、その原則が理解できる。 🕒 自身の時間管理を見直すことで、生産性向上に繋げることができる。 🕒 タイムマネジメントにより仕事とプライベートの両立ができる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①働き方改革とは ②タイムマネジメント7つの実践ポイント ③自分の仕事のスケジュール点検 ④業務の効率化のポイント ⑤自分の時間の使い方の見直し ⑥職場全体の生産性を上げるポイント 		備考
研修生の声	<ul style="list-style-type: none"> ▶▶ 分かりやすい説明だった。今後できることから実行していきたい。 ▶▶ 自己の振り返り、時間の振り返りをする事で、計画・マニュアルが見えてきて、奥が深いと思った。用語が難しかったが、知識を得る大変良い機会になった。 		